洛和会ヘルスケアシステム

お手持ちのスマートフォンで
右のコードを読み込むと、
各施設のマップを見ることができます。

本　部
洛和会ヘルスケアシステム 本部
〒607-8064
京都市山科区音羽八ノ坪51-4
TEL 075(581)1763(代)

医療法人
医療法人社団 洛和会
〒604-8405
京都市中京区西ノ京車坂町9

社会福祉法人
社会福祉法人 洛和福祉会
〒612-8006
京都市伏見区桃山町大島38-528

学校法人
学校法人 洛和学園
〒607-8064
京都市山科区音羽八ノ坪53-1

医療

5つの病院と4つの提携クリニックで、
救命救急、急性期、慢性期、在宅、
そして予防まで幅広く対応しています。

病院

地域に根差した急性期病院
洛和会丸太町病院
TEL 075(801)0351(代)　予約▶ 0120(489)244
医療関係者向け▶☎075(801)0372(地域連携課)

急性期医療とがん治療を中心とした総合病院
洛和会音羽病院(救命救急センター)
TEL 075(593)4111(代)　予約▶ 0120(489)300
医療関係者向け▶ 0120(607)489(地域連携課)

高度なシャント手術と透析治療を中心とする腎疾患総合病院
洛和会音羽記念病院
TEL 075(594)8010(代)
医療関係者の方は代表から医療介護サービスセンターをお呼び出しください。

地域包括ケアを支えるリハビリテーション病院
洛和会音羽リハビリテーション病院
TEL 075(581)6221(代)
医療関係者の方は代表から医療介護サービスセンターをお呼び出しください。

透析機能を強化し地域の医療を支える病院
洛和会東寺南病院
TEL 075(672)7500(代)
医療関係者の方は代表から医療介護サービスセンターをお呼び出しください。

クリニック

矢野医院
二条駅前クリニック
丸太町リハビリテーションクリニック
西洞院仏光寺クリニック

洛和メディカルスポーツ京都丸太町
(医療法第42条施設)

介護

在宅から施設サービスまで、
当会の医療や保育事業とも連携した
質の高いサービスを展開しています。

介護事業部

在宅サービス

利用者さんが暮らし慣れた地域で、自立した
質の高い生活を送れるよう支援します。

洛和会医療介護サービスセンター

丸太町病院	北大路店	四条鉾町店
音羽病院	丸太町店	西京桂店
音羽記念病院	三条会店	音羽病院前店
音羽リハビリテーション病院	右京山ノ内店	醍醐駅前店
東寺南病院	右京常盤店	大津店
北野白梅町店	東大路店	

京都市地域包括支援センター(京都市委託事業)
高齢サポート・朱雀 京都市朱雀地域包括支援センター
高齢サポート・音羽 京都市音羽地域包括支援センター

地域包括支援センター(文京区委託事業)
高齢者あんしん相談センター大塚/大塚分室

京都市地域介護予防推進事業(京都市委託事業)
京都市中京区地域介護予防推進センター

老人介護支援事業所
老人介護支援センター洛和ヴィラ桃山

居宅介護支援事業所

修学院	醍醐駅前	坂本
北花山	洛和ヴィラ天王山	洛和ヴィラ南麻布
山科	宇治琵琶	大塚介護保険サービスセンター
音羽	大津	
洛和ヴィラ桃山	石山寺	

洛和会訪問看護ステーション

北大路	四条鉾町	桃山	大津
壬生	西京桂	醍醐駅前	石山寺
右京山ノ内	山科	天王山	坂本
東大路	音羽	東向日	

洛和ヘルパーステーション

丸太町	音羽	醍醐駅前	坂本
山科	桃山	石山寺	

訪問リハビリテーション
洛和会丸太町病院
洛和会音羽リハビリテーション病院
洛和ヴィラサラサ

洛和デイセンター
〈通所介護・介護予防通所介護〉

北野白梅町	四条鉾町	宇治琵琶
西ノ京	音羽	南麻布
右京山ノ内	音羽のさと	文京大塚高齢者在宅サービスセンター
百万遍	リハビリテーション音羽	
修学院	桃山	

〈通所リハビリテーション・
介護予防通所リハビリテーション〉
イリオス(短時間型通所リハビリテーション)
サラサ(通所リハビリテーション・短時間型通所リハビリテーション)

福祉用具貸与・販売/住宅改修など
ウエルネット

地域密着型サービス

住み慣れた地域やご自宅で、
心身の状態などに応じた"第２の家"のような
あたたかいサービスを提供します。

洛和グループホーム

二条城北	四条鉾町	醍醐春日野	大津
西ノ京	桂	伏見竹田	大津若葉台
壬生	久世	醍醐寺	石山寺
太秦	桂川	亀岡千代川	坂本
右京山ノ内	北花山	大山崎	守山大門
右京常盤	勧修Ⅱ番館	天王山	瀬田
花園	山科小山	宇治琵琶	
西院	山科鏡山	京田辺	
百万遍	山科西野	八幡橋本	

洛和看護小規模多機能サービス
壬生　音羽

洛和小規模多機能サービス
花園　山科西野
西院　伏見竹田

施設サービス

日常生活のお世話から介護まで
必要に応じた施設で、一人一人に合った
サポートを行います。

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
洛和ヴィラ桃山　洛和ヴィラ南麻布
洛和ヴィラ大山崎　洛和ヴィラ文京春日

介護老人保健施設
洛和ヴィライリオス　洛和ヴィラサラサ
洛和ヴィラアエル

障害者支援施設
洛和ヴィラ桃山Ⅱ番館

地域密着型介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
洛和ヴィラ天王山　文京大塚みどりの郷

高齢者向け住宅

ケアの専門家が在駐し、高齢者の方が安心して
生活できる賃貸型住宅サービスです。

介護付有料老人ホーム[特定施設]
洛和ホームライフ御所北
洛和ホームライフ室町六角
洛和ホームライフみささぎ
洛和ホームライフ四ノ宮
洛和ホームライフ山科東野

サービス付き高齢者向け住宅
洛和ホームライフ北野白梅町
洛和ホームライフ音羽

保育

子どもたちの健やかな成長を導き、
保護者が安心して働くことができる
環境をサポートしています。

子ども未来事業部

洛和東桂坂保育園(認可保育園)
洛和桂小規模保育園(小規模保育事業)
洛和桂川小規模保育園(小規模保育事業)
洛和大塚みどり保育園(小規模保育事業)
守山市立吉身保育園(指定管理者)
守山市立吉身保育園 分園(指定管理者)
洛和みずのさと保育園(認可保育園)
京都市音羽児童館(指定管理者)
京都市新道児童館(指定管理者)
京都市大塚児童館(指定管理者)
京都市花山児童館(指定管理者)
京都市深草児童館(指定管理者)
洛和山科小山児童園 てくてく親子教室
洛和御所南学童クラブ
洛和若草保育園
[洛和会音羽病院 院内保育室・事業所内保育事業]
洛和会音羽病院 病児保育室 よつば
洛和イリオス保育園(企業主導型保育事業)

健康

充実の医療ネットワークと
多様な健診メニューで疾病予防に貢献します。
企業出張健診や特定保健指導も行っています。

健診・人間ドック

洛和会京都健診センター
[洛和会音羽病院 健診センター・洛和会東寺南病院 健診センター]

教育

洛和会京都厚生学校
洛和会介護教育センター

研究

洛和会京都医療介護研究所
洛和会京都音楽療法研究センター
洛和会京都医学教育センター
洛和会学術支援センター

関連事業部門

ウエルネット(本社・京都西支店・大津支店)
障がい者就労支援事業所 らくわ
洛和会資材センター
洛和会搬送部門【トランスポート】
・救急患者搬送サービス
・介護タクシー
洛和会情報システム部門
洛和会施設管理部門
洛和会会計・給与部門
洛和会企画広報部門

2022年6月現在

地域のために 地域とともに

RAKUWA

らくわ
Vol.135
2022年6月号

特集

洛和会音羽病院 病理診断科

病理診断…それは真実への扉

巻頭特集

洛和会音羽リハビリテーション病院

病院から在宅生活へ 安心して暮らせる地域づくり

～地域包括ケア病床を増床～

夢、そして誇り。この街で…
洛和会ヘルスケアシステム®

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

洛和会ヘルスケアシステムは
持続可能な開発目標(SDGs)
を支援しています。

最新医療

洛和会音羽リハビリテーション病院

病院から在宅生活へ

安心して暮らせる地域づくり

～地域包括ケア病床を増床～

洛和会音羽リハビリテーション病院 院長
兼 リハビリテーションセンター センター長 **堀井 基行**（ほりい もとゆき）

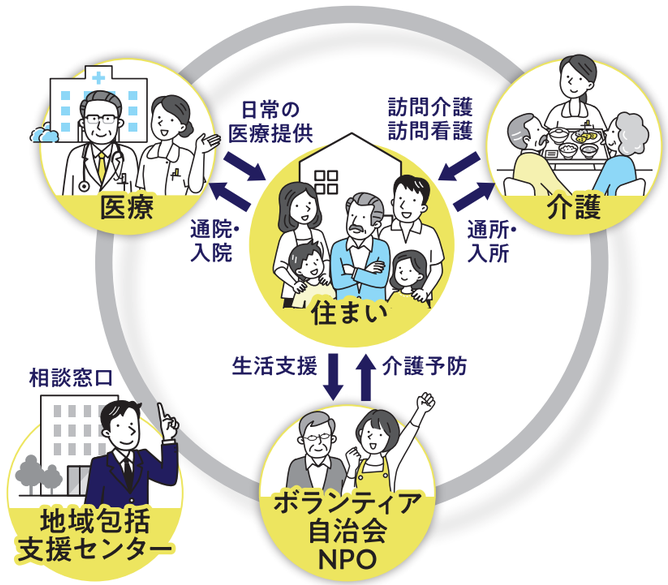
洛和会音羽リハビリテーション病院は、地域で医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保できる「地域包括ケアシステム」の一翼を担っています。

変化する地域のニーズに対応するため、この4月から地域包括ケア病床を増床しました。

01 地域包括ケアシステムの必要性

地域包括ケアシステムとは、高齢者が重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで送ることができるよう、地域一体で支援する体制のことです。超高齢社会の日本は、2025（令和7）年には国民の4人に1人が75歳以上という状況に突入します。そのため、医療や介護の面で生じうるさまざまな課題を解決すべく、高齢者の支援を目的とした総合的なサービスを地域に提供する「地域包括ケアシステム」の構築が必要とされています。また、高齢者の増加と担い手の減少などにも地域差があるため、各地域の特性に合わせたサービスが求められています。

《 地域包括ケアシステムとは？ 》



02 ニーズに応え、病床の再編へ

このまま高齢化が進めば医療へのニーズはさらに高まり、対応できる病床や人員の確保が難しくなると予想されます。そのため、手術などを受けた後の亜急性期や回復期の病床を増やし、十分なリハビリテーションなどを行い、その先にある介護保険施設での療養や在宅復帰につなげていく、というのが国の政策の方向性です。

そこで国の方針と地域のニーズに応えるべく、当院では、2022年から地域包括ケア病床を増床し、亜急性期・回復期の支援強化へと踏み出しました。病床を増やしたことで、急性期医療を受けた方や、在宅生活で状態が悪くなられた方の入院を受け入れやすくなりました。また、介護者の休息のための「レスパイト入院」や、神経難病患者さんのリハビリテーションを目的とした「リハビリテーション入院」も随時受け入れています。

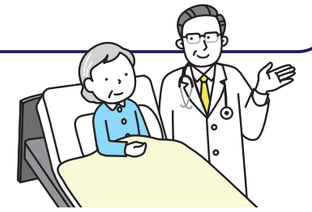
《 当院の病床再編 》

		2022年4月から	
回復期病床	100床	104床	+4 増床
障がい者病床	37床	37床	
地域包括ケア病床	20床	45床	+25 増床
医療療養病床	29床	0床	-29
合計	186床	186床	

※医療療養29床は地域包括ケア病棟と回復期病棟へ転換

03 在宅医療の体制を整備

多くの方が自宅など住み慣れた環境での療養を望んでおられます。そのため当院では在宅医療支援センターを設け、訪問診療や訪問リハビリテーションを実施し、退院後も生活の質を維持できるよう支援しています。



04 2035年 健康先進国の実現に向けて

すべての人が安心して生き生きと活躍し続けられるようにさまざまな生き方に対応できる保健医療システムをつくることを目指し、国は「保健医療2035提言書」を発出しました。そこでも重要視されているのが医療・福祉における多職種連携です。当院では、入院医療から在宅復帰までを円滑に進めるために、医師・看護師・薬剤師・リハビリ職・医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャーを含む介護職などが多職種で連携し、切れ目のないケアを目指し取り組んでいます。

患者さんにとっての価値に基づき、地域の実情に応じながら、より良い医療を享受いただけるよう、これからも努めてまいります。

Message

洛和会音羽リハビリテーション病院 看護部では、当院理念である「地域包括ケアを支えるリハビリテーション病院」を目指し、地域を“大きな病棟”、当院を“スタッフルーム”に見立て、住み慣れた地域で療養を継続される方々に直接、ケアを届けるための体制づくりに取り組んでいます。

在宅療養支援病院の看護部として、地域からの多様なスタッフコール（要請）に応えてまいります。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

洛和会音羽リハビリテーション病院
看護部長 **戸倉（とくら） さゆり**

最新医療

充実したリハビリテーションの提供を

バリエーション豊かな設備

当院3階には入り口の壁一面がガラス張りで、奥にはテラスもある、明るく開放的な「リハビリテーションセンター」があります。屋外に設置されたリハビリテーションガーデンでは飛び石、横断歩道、階段、スロープ、線路模様の段差が設けられ、陽差しを浴びながら、リハビリテーションをしていただけます。

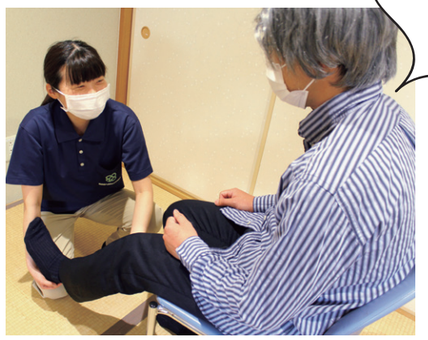
リハビリテーションをサポートする専門職

リハビリテーションの専門職である理学療法士(PT)・作業療法士(OT)・言語聴覚士(ST)が100人超在籍し、患者さんと二人三脚でリハビリテーションを行います。そのほか、医師・看護師・医療ソーシャルワーカー(MSW)・管理栄養士などの多職種が患者さんのケアを支える一つのチームとなり、在宅復帰を後押しします。

音楽が持つ力でリハビリテーション

洛和会ヘルスケアシステムには洛和会京都音楽療法研究センターが設置されており、音楽療法士が当会内外で幅広く活動しています。当院では医師、看護師、リハビリテーションスタッフと連携・協働しながら、患者さんとご家族のために最善のケアを目指して「聴く」「奏でる」「創る」「語る」といった音楽が私たちに働きかける力を活用し、患者さんの身体面や心理精神面をサポートしています。

訪問リハビリテーション



在宅療養を継続される患者さんが、安心して自分らしい生活を送れるよう、「住み慣れた環境」「暮らしたい環境」に合わせてリハビリテーションの専門スタッフがご自宅へお伺いし、短期・集中的なリハビリテーションサービスを提供します。また、入院リハビリテーションスタッフと訪問リハビリテーションスタッフが連携し、退院後の生活がスムーズに過ごせるように支援します。

洛和会音羽リハビリテーション病院は、2015(平成27)年4月に開設されてから、“地域包括ケアを支えるリハビリテーション病院”という理念のもと、急性期医療を受けた方々へ集中的なリハビリテーションを行い、在宅復帰支援に努めてまいりました。

超高齢社会において、在宅療養をされている方々の病状悪化時の入院対応、訪問リハビリテーション、訪問看護などの在宅医療、介護者への支援(レスパイト入院)など、多角的な支援がますます必要とされています。

今後も、地域の医療機関や介護サービスとさらに緊密な連携を取り合いながら、安心して生活できる地域づくりに尽力してまいります。

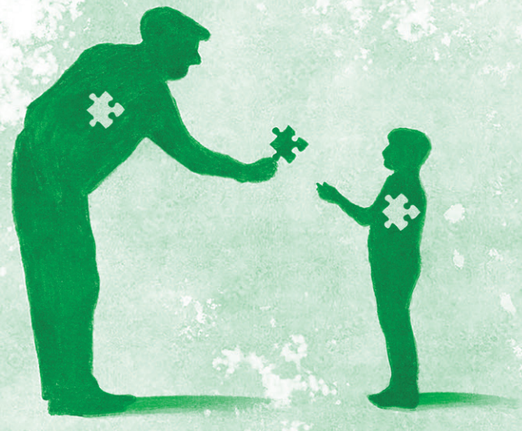
お問い合わせ

洛和会音羽リハビリテーション病院
TEL 075(581)6221(代)

洛和会音羽リハビリテーション病院 地域連携課
TEL 075(581)6868(直通)
月~土曜日 午前8時30分~午後5時15分 ※祝日・年末年始を除く
※レスパイト入院のご相談も受け付けています。
かかりつけ医、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を通じてお申し込みください。

洛和会ヘルスケアシステムが発行する
医療・介護・保育のWebマガジン RAKUWA PLUS
スマートフォンでもアクセスOK
今回の特集記事はWebにも掲載しています。その他、当会の情報も盛りだくさん!

父と私



洛和会ヘルスケアシステム
理事長 矢野 裕典（やの ゆうすけ）

最近力を入れているのがYouTubeでの広報活動です。

職員数が増えてくると（5,700人）、私の想いや考えを伝えることは困難に感じます。ましてやコロナ禍で直接会う機会が激減しています。職員や家族に洛和会のさまざまな人や部署を紹介する目的で始めました。

以前に収録した洛和会のYouTubeで、職員からの質問に答える企画を行いました。その中で「会長と似ているところ、違うところは?」という質問がありました。

父であり、医師としても先輩である有洛会長。

2人の共通点は、長男、高校時代に生徒会長、人が好き、意外とマメ、夢がある、猪突猛進タイプ、新しいもの好き、家族想い、よくしゃべるetc...

違うところは、私はお酒をほとんど飲みません。父は最近こそお酒の量も減りましたが、若い頃はかなり飲んでいたと聞いています。

それに、芸術や陶器、歴史や文化への造詣が深いところは、とても及びません。父は、絵馬や栓抜き、缶バッチといったコレクションを収集することが好きで絵馬部屋を作るほどですが、私はそういった収集はしていません。

とはいえ、子どもというのは親を見て育つといいますので影響を受けていることは否めません。私が小さい頃から、父が職員やその家族を想う姿勢を見てきました。「自分には家族以外に、職員やその家族を守る責任がある」そんなことをよく言っていた記憶があります。私も理事長として洛和会という大家族を守り続けていきます。

そういえば、会長が約40年前に書いた広報誌の第1回コラムにも、PR活動の大切さがありましたので、こうやって何を伝えたいかを考えながら広報誌の原稿を書いていたのでしょうか。媒体が紙からWebに移行しても、伝えたい想いはきっと変わりません。会長のコラムを確認されたい方は『夢、そして誇り。この街で…』電子版（特別価格の100円）をAmazonでご購入ください。

そんなことを考えていたら、今朝も早くから元気な「おっはよー!」という声が聞こえてきました。どうやら会長が本部に出勤されたようなので、このあたりでコラムの執筆は終わります。さあ、会長と共に理事長としての慌ただしい一日が始まります。

今日も一日頑張りましょう。

洛和会ヘルスケアシステム
公式アカウント日々更新中です!!

LINE
当会の情報や日々のニュースを発信!
当会のコンテンツへ簡単にアクセスできます。

YouTube
医療・介護・健康のお役立ち情報を
わかりやすく動画でお伝えしています。

Instagram
当会の取り組みや職員の日々を
写真でお届けいたします。

今月のピックアップ動画

「#8 副理事長に30の質問！」

仕事のこと、プライベートのこと、当会職員から募集した、さまざまな質問に答えています。

ウクライナに平和を

～洛和会ヘルスケアシステムができること～

京都市の姉妹都市であるウクライナのキーウ（キエフ）市。洛和会音羽病院が、1999（平成11）年に同市にあるクリニカ第10病院と姉妹協定を結び、お互いの医療の質向上を目的に医療スタッフの相互派遣による人的交流や医療機器の寄贈などを行うなど、親交を深めてきました。そして今、洛和会ヘルスケアシステムでは、戦渦にあるウクライナを支援するための働き掛けをしています。（2022年5月20日 現在）

これまでの洛和会ヘルスケアシステムとクリニカ第10病院の交流

1999（平成11）年 9月	洛和会音羽病院が姉妹協定病院を締結（写真1）
2000（平成12）年 4月	クリニカ第10病院の院長が洛和会音羽病院を訪問
2001（平成13）年 8月	京都・キエフ姉妹都市提携30周年事業に参加し、クリニカ第10病院を訪問 超音波診断装置を寄贈
2001（平成13）年 12月	クリニカ第10病院の消化器外科の医師が洛和会音羽病院で研修（写真2）
2003（平成15）年 3月	洛和会音羽病院の医師・看護師がクリニカ第10病院を訪問
2009（平成21）年 11月	洛和会丸太町病院の医師 がクリニカ第10病院を訪問
2011（平成23）年 8月	京都・キエフ姉妹都市提携40周年事業に参加し、クリニカ第10病院を訪問
2017（平成29）年 6月	日本・ウクライナ国交25周年記念式典参加 合わせてクリニカ第10病院を訪問（写真3 4）
2018（平成30）年 9月	洛和会丸太町病院の医師・看護師・薬剤師がクリニカ第10病院を訪問
2018（平成30）年 12月	超音波診断装置を寄贈（写真5）

1

姉妹協定病院の締結

2
クリニカ第10病院の外科医が洛和会音羽病院で研修

3

クリニカ第10病院訪問時、皆さんに歓迎していただきました

4

当会の役員や医師がクリニカ第10病院を見学

5
2台目となる超音波診断装置を寄贈

ウクライナの人たちが日常を取り戻せる日を願って

ウクライナ侵攻が報道されてすぐに、クリニカ第10病院に連絡を試みました。3月末にようやく連絡が取れ、医療物資の不足状況を聞き、現在送る準備を進めています。生き生きと働くスタッフの姿が印象的なこの病院と、再び交流できる日を心待ちにしています。

洛和会音羽病院 院長補佐 兼 産婦人科 副部長 矢野 阿壽加（やの あすか）

特集

病理診断…それは真実への扉

私たちはそう信じ、ただひとつの真実を求めて、日々粉骨砕身努力しています。

洛和会音羽病院 病理診断科では、臨床検査部と連携のもと、年間約5,500件の組織診断と約4,400件の細胞診断を行っています。丁寧な診断を行うだけでなく、日々進化する医療技術に合わせ、新しい手法を積極的に取り入れ、目の前の検体に真摯に向き合っています。

院長からの一言

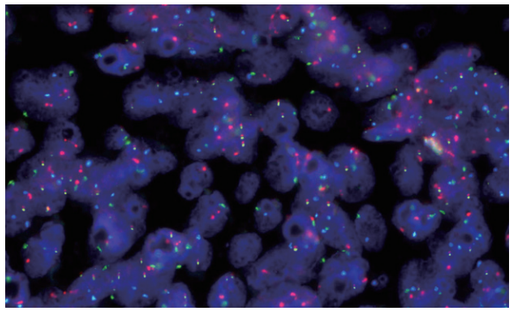
がん診療において、病理診断は重要な診断です。当院では病理診断科と専任の臨床検査技師が検査にあたり、質の高い診断を支えています。

洛和会音羽病院　院長 神谷（かみや） 亨（とおる）

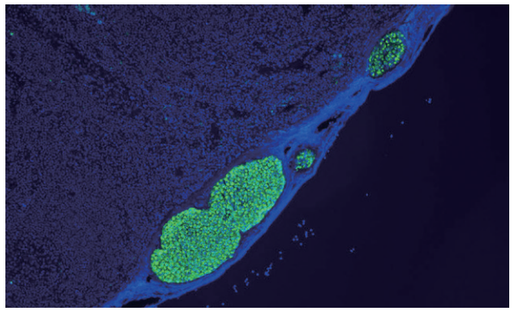
新たな技術に挑む

治療法選択に直結する 遺伝子検査

がんの治療法は近年目覚ましく変化しており、病理検体を用いた遺伝子検査の需要が高まっています。当院では、FISH検査を院内で行うことで患者さんにより早く治療を受けていただける体制を整えました。現在では、乳がん、悪性リンパ腫、悪性中皮腫、尿路上皮がんなどのFISH検査を院内で行うことができます。

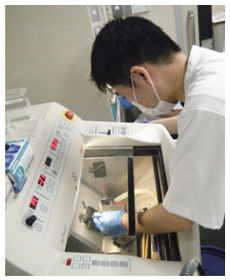


尿路上皮がん症例のFISH画像
※FISH検査…ゲノムマッピング技術の一種



乳がんリンパ節転移の術中蛍光顕微鏡画像

先端の 術中迅速診断



標本作製風景

手術中に組織または細胞診標本を作製し、ごく短時間でがんの有無を執刀医へ報告します。最近では、状況に応じて迅速免疫染色を追加し、より詳細な情報を提供する取り組みも始めています。

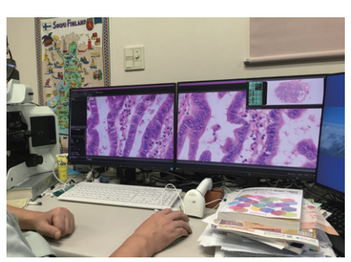
イチ押しポイント

遺伝子検査には臨床医と病理との連携が不可欠。当院では密な連携が実現できています。

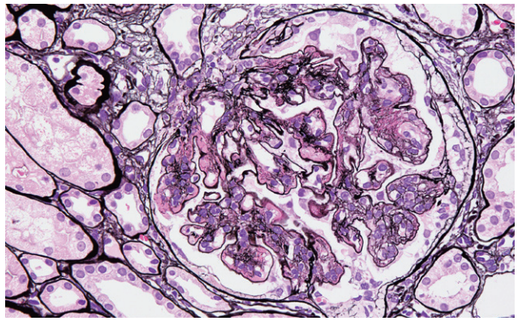
洛和会音羽病院
脳神経外科センター
所長 山本（やまもと） 一夫（かずお）

検体に責任を持ち、AI時代にも…

一般的に、各診療科医に任せることも多い手術材料の固定作業を、当院では病理スタッフが行っています。これにより標本精度が安定し、高い診断精度につながります。また、仕上がった標本をデジタル化することで来るべきAI時代への対応を目指します。



実際のバーチャルスライドの様子



ループス腎炎のPAM染色
※PAM染色…腎疾患の診断には欠かせない染色の一つ

光学顕微鏡を用いた鏡検風景

見るものの本質を究める

100年以上も引き継がれてきた伝統で 真実に迫る特殊染色

病理組織をさまざまな色に染め出す特殊染色。診断の決め手ともなりうる極めて重要な手法です。自動化が進む現代でも基本に忠実に、病理検査専属の臨床検査技師が1枚1枚手染色で行っています。

イチ押しポイント

いつも本当に標本が美しく正確な診断につながっていると思います。

洛和会音羽病院
腎臓内科 リウマチ科
医長 笠原（かさはら） 優人（ゆうと）

イチ押しポイント

手術中の短時間で検査結果を確認でき、適切な手術を選択できます。

洛和会音羽病院
呼吸器外科
医員 堀本（ほりもと） かんな

2022年4月より

常勤医2人の新体制となりました

今後もより一層診断精度の向上に努めてまいります。

2列目左から3番目
洛和会音羽病院
病理診断科
部長 安井（やすい） 寛（ひろし）

1列目左から3番目
洛和会音羽病院
病理診断科
医員 嶋田（しまだ） 恵里（えり）

お問い合わせ

洛和会音羽病院 病理診断科

洛和会音羽病院 病理検査室

TEL 075(593)4111(代)

介護部門

高齢者の「自宅で暮らしたい」をかなえる

在宅サービスの連携

洛和会ヘルスケアシステムには、居宅介護支援事業所と訪問看護ステーション、ヘルパーステーションが併設している事業所があります。利用者さんの在宅生活を支える上で、介護サービスの連携は欠かせません。今回は、醍醐駅前（京都市伏見区）にある3事業所の管理者に在宅サービスの連携事例や介護に携わる者としての思いなどを聞きました。

情報共有がスピーディー

皆川（居宅介護支援事業所）：3つの事業所が同じ所にある一番のメリットはケアプランを考えるケアマネジャー（介護支援専門員）と実際にサービスを行う看護師やホームヘルパーが身近にいるので、情報共有が早いことです。コロナ禍で、サービス担当者会議の開催を自粛せざるを得ないこともある中、対面で話をできることも利点と考えています。

木村（訪問看護ステーション）：お互いの動きが見えているので、それぞれの役割なども理解しやすいですね。

金澤（ヘルパーステーション）：ホームヘルパーは、医療的なサポートはできないので、不安に思ったことを看護師に気軽に相談できることはとても安心できます。

皆川：日々の利用者さんの状態も聞けるので、ケアプランの見直しなどもスムーズにでき、利用者さんにも大きなメリットになっていると感じています。

寝たきりからの回復

皆川：デイサービスを利用されていた方のお話ですが、病状が悪化して入院され、主治医から自宅に帰るのは難しいと言われました。ご本人とご家族は自宅に戻ることを希望されていたため、訪問看護と訪問介護を利用されることに。

木村：退院にあたり、尿路感染の予防が課題となっていたので、ご家族に排せつ管理の指導を行い、感染症を引き起こさないよう私たち看護師も日々経過を見守っていました。

居宅介護支援事業所
醍醐駅前
介護支援専門員
係長 皆川（みながわ） 直輝（なおき）

介護サービスを受けるための介護保険の申請・ケアプランの作成などを行います。

洛和会
訪問看護ステーション
醍醐駅前
看護師
主席係長 木村（きむら） 春美（はるみ）

自宅を訪問し、日常的な体調管理や主治医の指示書を元に医療処置や、清拭、排せつ介助などを行います。

金澤：ホームヘルパーも、訪問時の様子などを詳細に訪問看護師に共有し、変化があればすぐに対応してもらえたので、とても安心できました。

皆川：今ではデイサービスの利用を再開されるまでに回復されました。

木村：このときは、素早く情報共有を行うことで、早期にサービスを開始できました。また、感染症予防に対しても多職種が密に連携していたことで、大きく体調が悪化することなく元気に過ごされており、うれしく思っています。

介護者が新型コロナウイルス感染症に…

金澤：独居の利用者さんのご家族が新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者になり、介護ができなくなったと相談があり、ご家族の自宅待機期間中に居宅と訪問介護が協力してケアに当たったこともありました。

皆川：利用者さんは、急にご家族が来られなくなったことで不安になっておられました。担当ケアマネジャーは、感染防止対策として訪問を控えなければならなかったので、ホームヘルパーさんに訪問時の様子を細かく共有してもらっていました。

木村：利用者さんの中には、新型コロナウイルスに感染した方もおられましたので、そういった情報は適宜情報共有するよう心掛けています。

利用者さんに安心して生活してほしい

皆川：今は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、不安を抱える利用者さんがたくさんおられます。そんな時だからこそ、醍醐駅前の3事業所が一丸となり利用者さんに質の高い医療・介護を届けられるよう努めたいと思っています。

木村：ケアマネジャー、ホームヘルパーは、どんな小さなことでも共に喜び合える利用者さんを支える一つのチームだと思っています。そして、利用者さんの「こんなことがしたい」「こうなりたい」を大切にしながら、ご家族の思いに寄り添う看護を提供したいと思っています。

金澤：近くにケアマネジャーや看護師がいることで、利用者さんに対しての介護方針が話し合え、利用者さんのちょっとした変化も共有できます。各サービスの専門職として連携をとりながら利用者さんがご自宅で安心して生活ができるよう支えていきたいです。

洛和ヘルパーステーション
醍醐駅前
介護福祉士
係長 金澤（かなざわ） 路子（みちこ）

ケアプランに基づいて身体介助や生活援助を行います。

お問い合わせ

居宅介護支援事業所
醍醐駅前
TEL 075(575)3763

洛和会訪問看護ステーション
醍醐駅前
TEL 075(575)5011

洛和ヘルパーステーション
醍醐駅前
TEL 075(575)3762

〒601-1375
京都市伏見区醍醐高畑町29-3

X線CT認定技師に聞いてみた

当会では現在60人以上の診療放射線技師が在籍し、現場で活躍しています。今回はその中でも**「X線CT認定技師」**の資格を有する3人の技師に、資格取得の経緯や仕事に対する思いなどを聞きました。

X線CT認定技師とは

診療放射線技師の免許を有し、以下の諸条件を全て満たしたうえで学科試験に合格した技師に与えられる資格です。

- ■診療業務経験5年以上　■X線CT臨床実務経験3年以上
- ■X線CT認定技師講習会またはX線CT認定技師指定講習会の受講

また5年ごとの更新には学会の参加や学科試験などの条件があり、常に最新の知識を得ることが必要です。

患者さんへの負担を減らしたい

CT認定資格は技師6年目に取得しました。CT検査時は被ばく線量の低減や撮影速度を高速化することで患者さんの負担を軽減できるように心掛けています。

また依頼内容により、画像再構成の仕方や造影剤量、ノイズなどを調整し、各診療科の先生や放射線科医が求める画像の提供を目指しています。その結果、患者さんの病気発見の一助になればと考えております。

洛和会丸太町病院
放射線部
係長 藤川（ふじかわ） 優志（まさし）

新装置導入にも貢献

当院では本年3月にCT装置を更新しました。導入前のメーカーとの打ち合わせから、導入後の撮影プロトコルの調整まで一貫して携わり、認定技師資格を取得した際に得た知識を生かすことができました。新装置の使用にはまだまだ不慣れなことも多いので、今後さらに経験を積み、性能を最大限生かした画像を提供できるよう私を筆頭に部署全体の技術力UPに尽力してまいります。

放射線治療計画にも

先輩からの勧めもあり、6年程前にX線CT認定技師資格を取得しました。CT装置の管理に必要な知識も得られ、急患対応にも役立っています。以前はMRIを使うことが多かったのですが、CTについて詳しく学んだことを生かし、現在は放射線治療の計画や照射業務を担当しています。

放射線治療においては、毎日受療に来られる患者さんもおられるので、少しでもリラックスできるような雰囲気づくりを心掛けています。

チーム医療の一員として

放射線技師は医師・看護師をはじめ多職種の職員との連携が欠かせません。検査の質や精度だけでなく、コミュニケーションを大切にスムーズな連携を意識しながら取り組んでいます。また、当部署にはまだこの資格を持っている後輩が少ないので、取得しやすい環境を整え、部署全体としての意識と技術の向上を目指しています。

洛和会音羽病院
放射線部
課長 大城（おおしろ） 怜央（れお）

得た知識を生かして

医療業界における女性疾患の検査の実情を知り、当時まだ女性が少なかった放射線技師を志しました。放射線技師として職務についてから7年後、CT装置の特性について理解を深める良い機会と考え、X線CT認定技師資格を取得。その勉強のおかげで、先輩の設定したパラメーターの値の意味がよく理解できるようになり、さらに撮影条件について自分から提案できるようになりました。

日々の勉強が質の向上へつながる

放射線技師はさまざまな診療科と関わる仕事であるため、どの診療科にも対応できるようそれぞれの疾患についての知識も必要です。また機器もどんどん進化していくため、日々勉強し続けています。技師として、医師の求める「クオリティの高い的確な画像」を提供し、患者さんへの正確な診断につながるようこれからも努めてまいります。

洛和会音羽病院
放射線部
副係長 佐野（さの） 史枝（ふみえ）

保育部門

子どもたちに食事の栄養素と食べる楽しみを伝える

京都市深草児童館では、小学1年生の児童を対象に食事の栄養バランスやマナーなどについて学ぶ機会を設けています。

京都市深草児童館
副係長
橋井（はしい） 空見子（くみこ）

栄養バランスの大切さを楽しく学ぶ

成長期にある小学生の児童たち。好き嫌いも多く栄養バランスが偏りがちな子どもも多いのが現状です。そこで、それぞれの食材が自分たちの体を作る上でどのような役割を果たしているのかを知り、バランスのいい食事を心掛けてもらえるようお話ししました。

動画で主食、主菜、副菜について学ぶ

主食、主菜、副菜それぞれの役割と食事の楽しさやマナーなどについての動画を視聴。

クイズ形式でメニューを栄養素ごとに分類

子どもたちに、普段食べているメニューを栄養素ごとに色分けしてもらいました。

食べることを楽しみに

低学年の子どもたちは、入学してから行事がないことが当たり前になっています。コロナ禍でなかなか友だちなど大勢の人たちと食事を楽しめませんが、栄養バランスの大切さなどを学び、好き嫌いなく食べられるようになってほしいと思います。

京都市深草児童館
〒612-0031
京都市伏見区深草池ノ内町2
TEL 075(642)3413

洛和会ヘルスケアシステムの SDGs

フリースペース“絆”at おおつか

洛和会音羽リハビリテーション病院では、2016年から「フリースペース“絆”at おおつか」として院内の一部を開放しています。

[フリースペース “絆”とは]
安心安全の福祉のまちづくりを推進することを目的として、山科区内各所に設けられている“地域の交流の場”です。

作業療法士と音楽療法士による「クイズで歴史をたどろう −自分と日本の出来事−」

※本事業は山科共汗型まちづくり支援事業の助成を受け、山科区地域福祉推進委員会が実施しています。

これからも多職種の職員が協働し、地域の皆さんに楽しんでいただける企画を行っていきます！

今後の予定
- 寄席（大学生との産学連携）
- 体操
- アートセラピー
- クリスマスコンサート　など

※詳細はホームページをご覧ください。

当会のSDGs特設ページはこちらから

洛和会音羽病院 救命救急センター 10周年

記念企画のご紹介

企画進行中！

- **10周年記念写真パネル**
- **イベント開催**
  ※特別講演ほか、さまざまな企画を準備中です。詳細が決まり次第お知らせいたします。
- **特設ホームページ**
  ショート動画も作成中！

ほか多数企画あります!!

特別講演

演題 **ER診療から学んだこと**

講師

国立大学法人 福井大学
医学部 地域医療推進講座
名誉教授
寺澤（てらさわ） 秀一（ひでかず） 先生

日時 2022年 6月10日(金)
17:30～19:00

会場 洛和会音羽病院内（オンライン開催）

参加費 無　料

座長 洛和会音羽病院　救命救急センター・京都ER
部長 兼 センター長　隅田（すみだ） 靖之（やすゆき）

洛和会音羽病院　救命救急センター・京都ER
副部長　宮前（みやまえ） 伸啓（のぶひろ）

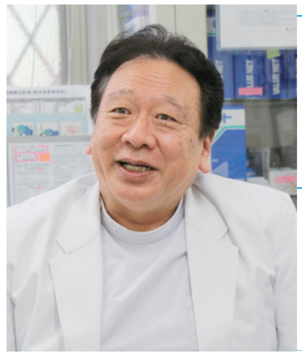
お申し込み 右の二次元コードより
お申し込みください
https://forms.gle/9mZ3LNrd33dexZ1EA

イベント開催後、6月20日より動画配信を行います。ぜひご覧ください。

お問い合わせ
洛和会音羽病院 地域連携課　TEL 075(593)7725

まちのお医者さん

洛和会ヘルスケアシステムと
連携されている
"地域のお医者さん"をご紹介します。



今回ご紹介

重永医院

院長 重永（しげなが） 博（ひろし） 先生

外科 内科

待合室

当院の特長

- 開業から92年。江戸時代に盛んに米の取り引きが行われた「大津御用米会所」跡に施設があります。
- 院長の専門は一般外科です。

〒520-0043
滋賀県大津市中央2-3-16
TEL 077 (525) 2255

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	―
18:00～20:00	●	―	●	―	●	―	―

休診日：日曜日、祝日、年末年始

地域の皆さんに寄り添います

ささいなことも丁寧に

当院は1930(昭和5)年に開業し、祖父、父、私の3代にわたり大津市の皆さんとともに歩んでまいりました。「ささいなことも丁寧に接する」をモットーに、患者さんの立場で診療にあたっています。普段の元気な姿や病歴を知っている地域のかかりつけ医の存在はとても大切だと思っています。患者さんには自身の体に少しでも不安を感じたら、目に見えるもの、見えないもの、大小関係なくお気軽にご相談いただきたいです。

病診連携の大切さ

現在、大津市医師会会長を務めさせていただいております。大津市医師会は前身の弘業社から数えて148年目になり、2022年4月現在、開業医、勤務医合わせて504人が在籍しています。また、日々進歩する医療に順応できるよう、オンライン研修会、講演会を実施し会員の生涯教育を行っております。昨今のコロナ禍においては、病院・診療所・行政が協力し、大津市内で大規模なワクチン接種を行いました。地域の皆さんが不安になっている今こそ、われわれが協力し合い、スピードを持って対応しなければならないと思います。

[アクセス]
京阪「浜大津駅」から徒歩約5分、
JR「大津駅」から徒歩約10分
駐車場あり

Face to Face

開業医の先生と病院をつなぎます！

洛和会音羽病院　医療介護サービスセンター地域連携課

木村（きむら） あゆみ

座右の銘 ［ 為せば成る ］

出身地：滋賀県
趣　味：楽器(ホルン)歴16年 現在も社会人バンドに所属しています。
特　徴：笑うと右側だけにえくぼができます。
好　物：和洋問わず甘い物、日本酒

急性期医療を担う病院ということで、スピード感と正確さを両立できるよう日々意識して取り組んでおります。地域の先生方からのご相談・ご要望にお応えできるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

洛和会音羽病院　医療介護サービスセンター地域連携課

副係長 片山（かたやま） 翔也（しょうや）

座右の銘 ［ 謹厳実直 ］

出身地：滋賀県
趣　味：ボウリング(歴6カ月)
特　徴：背が高い
あなたの青春の思い出を教えてください：
兵庫県まで自転車での日帰り旅行

課内では内勤業務を担当しており、地域の医療機関の皆さまとは主にお電話にてお話しさせていただいております。お問い合わせや外来予約のご依頼の際には、患者さん、医療機関さまをお待たせしないよう素早く丁寧な対応を心掛けております。ご期待に添えるよう精いっぱい努力いたしますので、ぜひお気軽にご連絡くださいませ。

まちのお店紹介

今回ご紹介

Cafe & Boutique Marlet －マルレ－

大津市 中央

今回訪問したのはCafe & Boutique Marlet －マルレ－さん。1階がカフェ、2階がブティックになっています。店内に流れるジャズのBGMがとても心地よく、ビリヤードも楽しめます。週末には不定期でライブ演奏もあるそうです。

店長 諏訪（すわ） 玲子（れいこ）さん

百貨店からの移転で広がった縁

元々西武百貨店大津店内にミセスものを中心としたブティックをされており、百貨店の閉店を機に2020(令和2)年10月に現在の場所へ移転。大正時代の町屋を大胆に改装し、新たにカフェもオープンしました。「百貨店時代からの常連さんはもちろん、ご家族連れや学生の方もご来店いただくようになりました。ランチに来た学生さんに『今日で3回目なんです。ここのハンバーグにはまってしまいました！』と言ってもらったのが本当にうれしかったです」と店長の諏訪さん。

町屋風のブティック

旬の食材が光るメニュー

お店の人気メニューは「マルレきまぐれランチ」。近江牛ハンバーグや、自家製タルタルソースのかかったエビフライなどから選べるメインと、本日の一品・お惣菜・ごはん・汁物がセットになっています。ほかにも近江牛ステーキ御膳やうなぎ御膳、季節の限定ランチもあり、6月のメインは鱧を予定しています。また、ハンドドリップコーヒーはオリジナルブレンドをはじめ世界各国から入手し、専属の焙煎師によってそれぞれの豆の特性を生かした焙煎をしています。

マルレきまぐれランチ　1,650円(税込)

思い思いの時間を過ごして

ランチで舌鼓を打つのも良し。カフェでお気に入りの一杯を見つけるのも良し。ブティックで店長と話に花を咲かせるのも良し。ライブ演奏に耳を傾けながらディナーを楽しむのも良し。Marletさんを訪れる人たちはそれぞれの時間を過ごして、皆さん笑顔で帰られます。

食材はオーナーの矢木さんが毎日市場に足を運び、仕入れています

オーナーの矢木さん

Shop information

〒520-0043 大津市中央2-5-18
TEL 077(526)7025

[営業時間] 10:00～18:00
[定 休 日] 毎週水曜日

※16ページの地図を参照ください

令和4年度　洛和会ヘルスケアシステム　合同慰霊祭

5月14日、この1年間に洛和会ヘルスケアシステムの施設で亡くなった方々のご冥福を祈る合同慰霊祭が「夢殿」「十二支守り本尊」「慰霊碑」の三カ所にて営まれました。

コロナ禍ということもあり、今年度も法要のみとなり、会長 矢野一郎、理事長 矢野裕典をはじめ、役員理事、各病院院長・看護部長ら関係者のみ参列いたしました。

「夢殿」、「十二支守り本尊」と法要が続き、最後の慰霊碑前では、読経のなか、参列者が焼香し、故人のご冥福を祈りました。

詳細はこちら

洛和会音羽病院 ICU/CCUが第7回接遇大賞を受賞！

模範となる優れた接遇マナー・応対サービスを実践している病院・介護施設・事業所や、その部署・委員会等を表彰する日総研の「接遇大賞」に洛和会音羽病院ICU/CCUが選ばれました。

今回受賞したスタッフ間の感謝を綴ったメッセージカードを掲示する取り組みは、緊迫感のある現場では助け合いが当たり前で、改めて感謝を言葉にしていなかったことや、昼休みの完全黙食により部内でのコミュニケーションの機会が失われていたことから企画されました。

今ではICU/CCUのスタッフ同士だけでなく、患者さんやご家族、他部署のメンバーにもメッセージを発信しています。

詳細はこちら

当会の介護事業所が下京警察署から表彰されました

当会が運営する洛和会医療介護サービスセンター四条鉾町店・洛和会訪問看護ステーション四条鉾町・洛和デイセンター四条鉾町が下京警察署長から感謝状の贈呈を受けました。

昨年、「下京署安全安心スマイルUP隊」として下京警察署長より委嘱され、日常業務を通じて介護サービスの利用者さんに声掛けなどの啓発活動を行い、下京区の特殊詐欺事件や交通事故の防止に貢献したことに関し、これまでの功労が認められての表彰です。

当会では引き続きさまざまな機関と連携し、地域の安全安心に貢献してまいります。

詳細はこちら

洛和会音羽病院が(公財)京都府暴力追放運動推進センターから賛助会員の証を交付されました

4月27日、洛和会音羽病院が公益財団法人京都府暴力追放運動推進センターの賛助会に入会したことを受け、賛助会員の証の交付式が当院にて執り行われました。

当院は今後も暴力団などの反社会勢力からの不当要求に対して決して屈せず、安心して患者さんにご来院いただける病院であり続けます。

詳細はこちら

交通安全横断幕のお披露目会を行いました！

4月6日、京都市大塚児童館の児童たちが制作した、交通安全横断幕のお披露目会が行われました。春の交通安全運動に向けた取り組みとして、京都府山科警察署と滋賀県大津警察署との合同企画です。

一生懸命に横断幕を制作した児童たちは、自分の描いた絵を眺め、友達と見比べながら大満足の様子でした。

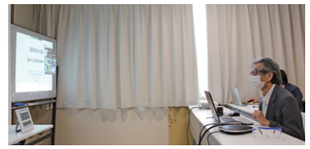
横断幕は4月15日まで国道１号線の県境歩道橋に掲示されました。

医療福祉関係者に認知症の話を講演

5月16日、山科区認知症初期集中支援事業（洛和会音羽リハビリテーション病院）と京都市山科区在宅医療・介護連携支援センター（山科区医師会）が合同で認知症をテーマとしたオンライン講座を開催しました。

当日は同院 洛和会認知症医療支援センター 参与 木村透が「認知症の話2022 基本から臨床現場まで」と題して講演し、山科区の医療福祉関係者約100人が参加。今後、増加すると予想される認知症患者への早期発見・早期診断の大切さを分かりやすく解説し、患者さんの重症化を防ぐために必要なことについてもお話ししました。

本講演を通じてご家族や医療福祉関係者の介護負担が減少し、安心して暮らせる地域づくりの一助となることを願っています。



詳細はこちら

リハビリテーション部のユニフォームが変わりました

4月から洛和会ヘルスケアシステムのリハビリテーション部のユニフォームが新しくなりました。装いも新たに、患者さんのサポートに尽力してまいります。

5月1日よりクールビズを実施しています

当会では5月1日から10月31日の期間、クールビズを実施し、ノーネクタイを基本とした軽装で業務を行っております。ご理解のほどよろしくお願いします。

入力3分
アンケートにご協力ください

『らくわ』をご覧いただきありがとうございます。
今後の制作の参考にさせていただきますので、
ぜひご意見をお聞かせください。
よろしくお願いいたします。

※本誌の取材は十分な感染対策を行った上で実施し、撮影のため一時的にマスクを外しています。

洛和会へのお客さま

3月～5月

- **3月31日**
  医療法人社団 医仁会
  武田総合病院さま
  （京都市伏見区）
  洛和会音羽病院を見学
- **4月15日**
  医療法人社団 健愛会さま
  （香川県）
  洛和ヴィラ大山崎、
  洛和ヴィラ天王山、
  洛和グループホーム天王山、
  洛和ホームライフ音羽、
  洛和ホームライフ御所北を見学
- **5月12日**
  社会医療法人春回会
  井上病院さま
  （長崎県）
  洛和会音羽病院を見学

洛和会音羽病院のC棟北側に、「音羽の森 夢殿」があります。

堂内には薬師如来像、両界曼荼羅、薬師三尊図の5点の仏画が安置されています。

絵馬 1枚100円

らくわ

洛和会会報誌 らくわ　vol.135

発行／洛和会ヘルスケアシステム
http://www.rakuwa.or.jp/

表紙写真／
洛和会音羽リハビリテーション病院 院長
兼 リハビリテーションセンター センター長
堀井 基行

発行日／2022年6月1日
編集／洛和会企画広報部門
編集責任者／小林 拓磨
印刷／佐川印刷株式会社
題字／矢野 満子